

事務事業名	コード1	16800	病児・病後児保育事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画	課	子育て支援課		
	コード2				<input type="checkbox"/> 新市建設計画	所属班	保育班		
施策体系	施策	7	子育て支援の充実	事業種別	<input type="checkbox"/> 総合戦略	電話番号	62-5313	内線	162
	施策の展開	15	結婚・子育てで環境の整備		<input type="checkbox"/> 復興計画	予算科目	会計 3 3 6		
				事業種別	<input type="checkbox"/> 定住自立圏構想	根拠法令	旭市病児・病後児保育事業実施要綱 保育対策等促進事業費補助金交付要綱		
					<input type="checkbox"/> 行政改革アクションプラン				
				事業種別	<input type="checkbox"/> 主要事業				
					<input type="checkbox"/> 簡易評価				

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 20 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳  <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	児童が病気又は病気回復期で、集団保育の困難な期間、専用施設において一時的にその児童を預かる。保育所での保育中に体調不良となった児童が保護者に引き取られるまでの間、専用施設において一時的に緊急的な対応をする。  <b>【業務の流れ】</b> 実施施設 鶴巻保育園(私立保育園)・・・補助金の交付 ※干潟保育所(公設民営)・・・保育所指定管理委託事業(干潟保育所指定管理料)

(2) トータルコスト

① 費目の内訳(26年度の実績) 単位:千円		単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
1.委託料	4,310	千円	4,310	4,310	4,310	4,310
2.負担金補助及び交付金	4,310	千円	4,310	4,310	4,310	4,310
	0	千円				
	0	千円				
	0	千円				
② 特定財源の内訳(26年度の実績) 単位:千円		事業費計(A)	千円	8,620	8,620	8,620
1.国庫支出金	0	千円				
2.都道府県支出金	5,746	千円	5,746	5,746	5,746	5,746
3.地方債	0	千円				
4.その他	0	千円				
前年度比増減理由:		5.一般財源	千円	2,874	2,874	2,874
③ 延べ業務時間の内訳(26年度の実績) 単位:時間		人件費	人	0.00	0.00	0.00
病児・病後児保育事業の補助金交付事務(年間述べ時間) 年間10時間		延べ業務時間	時間	10	10	10
		人件費計(B)	千円	38	38	38
		トータルコスト(A)+(B)	千円	8,658	8,658	8,658

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	26年度実績(26年度に行った主な活動) 鶴巻保育園における病児・病後児保育の実施。自園の児童が保育中に体調不良となった場合、専用の保育室において保護者が迎えに来るまでの間、緊急的な対応をする。 27年度計画(27年度に計画している主な活動) 鶴巻保育園における病児・病後児保育の実施。自園の児童が保育中に体調不良となった場合、専用の保育室において保護者が迎えに来るまでの間、緊急的な対応をする。	ア 実施施設数(私立) イ 実施施設数(公設民営) ウ	場所 場所	1 1 1	1 1 1	1 1 1	1 1 1
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	鶴巻保育所入所児童(体調不良児対応型)及び保護者 (干潟保育所においては、市内小学校3年生までの児童及びその保護者)	ア 保育所入所児童数(私立) イ 市内小学校3年生までの児童数	人 人	100 5,538	100 5,430	100 5,325	90 5,220
目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	病気の児童をもつ保護者が就労等で保育できない場合、安心して児童を預けることができる。また、保育所において児童が急に体調不良となった場合、仕事の関係ですぐに迎えに来られなくても保育所で看護することで保護者が安心して就労できる。	ア 年間延利用者数(私立) ( ) イ 年間延利用者数(公設民営) ( )	人 人	未把握 352	518 223	515 111	515 510
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	市民が安心して子育てすることができる	ア 出生数(各年) ※千葉県毎月常住人口調査 ( )	人	548	511	489	498

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
女性の就労の支援や、児童が病気の際、保育する人がいない家庭が増加している。保育所へ預けている場合でも体調が悪くなった場合、共働き等ですぐには迎えに来られない家庭も増えている。	H25年のニーズ調査では、就学前児童をもつ保護者で児童の看護のため仕事を休んだことのある保護者のうち、利用したいとの回答した保護者は、32.8%、利用したいとは思わないと回答した保護者は66.7%であった。	利用したいと思わないと回答した保護者の意見として「他人にみてもらうのは不安」56.4%、「親が仕事を休んで対応」が53%となっている。

事務事業名	病児・病後児保育事業	課名	子育て支援課	班名	保育班
-------	------------	----	--------	----	-----

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 児童の保護者が安心して働くことができ、安心して働くことができ、子育てできる。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 実施している保育所は、鶴巻保育園と干潟保育所の2ヶ所であり、鶴巻保育園は自園の園児が対象のため、自園以外の児童を対象としている施設は干潟保育所だけである。 (※干潟保育所は、「保育所指定管理委託事業」より、干潟保育所指定管理料として委ねている)
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 家庭状況の変化に伴い、児童の急な体調不良に対応できる同事業は、安心して子育てできる環境づくりの上では、必要である。また、運営は民間へ委ねている。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 鶴巻保育園では、対象が自園の児童に限られてしまっている。 干潟保育所は、自園以外の小学校3年生までの児童を対象としている。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷ 自園の児童だけでなく、市内の児童を対象とする。また、地域の格差をなくすため実施施設の増加を図る。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (1) 事務事業名：( ) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 病児・病後児を預かる事業は他にはない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 保育対策等促進事業費補助金交付要綱に基づき、定められた補助金額を交付しており、削減の余地がない。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 補助金交付手続きに係る事務のみのため、削減余地がない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 私立で実施している鶴巻保育園は、自園の児童のみの対応なので、市内の児童全てを対象としていない。

## 3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

<b>(1)1次評価者としての評価結果</b>		<b>(2)全体総括(振り返り、反省点)</b>
① 目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	鶴巻保育園は自園の児童が対象であるため、保護者の就労支援を目的とする上では、市内の児童に対応できるように対象を拡大する必要がある。また、地域に偏りがあるため、すべての地域で対応できるように検討を要する。
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

<b>(1)今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性</b>		<b>(3)改革・改善による期待成果</b> (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
					コスト																		
			削減	維持	増加																		
成果	向上				○																		
	維持																						
	低下																						
<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し																						
<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上	<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業： )																						
<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減																						
<input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の適正化	<input type="checkbox"/> 費用負担の適正化																						
<input type="checkbox"/> 廃止・休止																							
<b>(2)改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？</b>																							
いつまでに	なにを、どうするのか？																						
H31までに (5ヶ年計画)	鶴巻保育園での対象の拡大。地域ごとに実施施設を設置。																						
<b>(4)改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</b>																							
本事業の目的を理解していただくため、民間施設と協議、検討を行っていく。																							